

2 令和8年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①個に応じた進路を実現するために、教育課程の編成と履修指導の充実を図る。 ②基礎的・基本的な知識や技能を身につけさせ、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力をはぐくむことができる授業作りを進める。	①生徒の多様な進路に合わせて、生徒一人一人の進路希望に合わせ、適切で丁寧な履修指導を行う。 ②教授法を工夫するとともに、ICT機器を有効活用し、生徒の理解度を高める授業を実践する。各教科や総合的な探究の時間においてはSDGsの観点から幅広い知識と教養を養わせる。	①新着任の教員も本校の教育課程を理解し履修指導ができるように、研修会で指導力を培わせる。生徒が希望した履修科目がすべて履修できるように大きな時間割を検討する。 ②電子黒板と通常の黒板で効果的に授業を実践していくことができるように、授業研究や意見交換の場を多く設定する。 SDGs探究活動で達成できない目標が数多く出そうな原因と今後の方策について考察させる。	①履修指導研修会を実施したか。履修指導を生徒の進路希望に合わせて出来たか。また、時間割の調整を検討し、結果を確認する。 ②「生徒による授業評価」で生徒にとって効果的な授業になっていたか検証する。 SDGs探究活動の生徒のプレゼンテーションで、達成できない目標について原因や新たな考察ができていないか判断する。
2	(幼児・児童・)生徒指導 支援	①生徒の自主自立を目指した生徒指導および個に応じた外国人支援と教育相談の充実を図る。 ②生徒がお互いを尊重し、協力できる体制を構築する。	①各種研修会、年次集会を通して、生徒の主体的に行動する意識を高める。 SC・SSW・多文化コーディネーターとの連携を図り、円滑な支援を目指すとともに、職員の意識を高め学校組織を強化する。 ②学校行事のあり方や時期についての検討を継続する。生徒が主体的に行事に関わる体制を構築する。	①社会人に必要な資質を育むため、研修等を通し規範意識を高める。教育相談および外国人支援について組織を強化し、支援体制を充実させる。 ②フレキシブルの特性を生かした行事のあり方や運営体制の検討を重ねる。また、生徒会、実行委員会で検討し、生徒の主体性を引き出せる形で実施する。	①振り返りシート等から生徒の規範意識が向上したと判断できるか。支援が必要な生徒を掌握し組織で連携して具体的な支援を行うことができたか。 ②行事への達成感や満足感を高められたか。本校の行事に関する満足度調査において、昨年度より満足した割合が増えたか。
3	進路指導 支援	生徒が自ら希望した進路に対して、将来設計に基づいたキャリアを持続的に形成できるように、キャリア教育の充実と個々の進路支援を行う。	①生徒自らキャリアデザイン・キャリア形成ができるように進路ガイダンスの内容を充実化させる。 ②生徒個人の学習意識を高める。	①自分の進路について、3年間の大きな見通しを持てるよう、1年次から適切な時期に応じたガイダンスを行う。 ②スタディーサポート事後指導の充実や、希望者向けの模試を行う。長期休業中の講習を充実させる。受験だけでなく、進学後のためにも学力は必要であるという意識を持たせる。	①アンケートや振り返りシート等から、生徒自らキャリアデザイン・キャリア形成ができていると判断できるか。 ②スタディーサポートの学力値がどう変化したか。長期休業中の講習や、模試の参加者が増えたか。
4	地域等との協働	積極的に地域等に本校の魅力を発信するとともに、地域と協働できる学校作りを進め、主体的に考え、協調の精神を備えた、社会に貢献できる人材を育成する。	①学校説明会等の更なる充実を図り、参加者への満足度を高めていく。 本校に興味を持つすべての人に、本校の魅力と特色を発信する。 ②地域の行事等で生徒を活躍させる。	①恒常的に入学希望者が多くなるよう、学校説明会やホームページなどを通じて、本校の特色や授業環境の良さ、設備の良さ、在校生の良さを伝えていく。 ②地域とのかかわりをさらに深め、本校を支援してもらえるように信頼関係を構築する。	①10月の中学生への進路希望調査で、昨年度の1.7倍を超えるか。 ②地域からの声や実際の生徒の地域への貢献活動をとらえて、地域からの信頼度を図る。
5	学校管理 学校運営	教育環境を整備し、質の高い教育を与えるような学校運営を実施する。	①備品の適切な管理に努める。 ②学校美化に努める。 ③災害に備える。 ④ICT環境を整える。 ⑤私費の適切な管理に努める。	①備品類の定期的な点検の実施と故障時に素早く修理ができる態勢を整える。 ②水曜日Ⅱ限の中で清掃活動を定期的に実施する。 ③災害に備えた実践的な訓練を実施する。 ④故障なく使用する。最新のセキュリティにアップデートする。 ⑤マニュアルに基づいて私費の管理を行う。	①備品を適切に管理できたか。 ②定期的に清掃活動を行えたか。 ③実践的な訓練が行えたか。 ④授業に支障をきたすことがなかったか。 ⑤事故なく会計処理ができたか。